

学校だより

vol.3

2025年1月1日発行

2年生

灯火のルー

おそろかな雰囲気の中、ナイチンゲール像の灯火を点灯、3年生の先輩方がナイチンゲール像から灯火を受け取り、放射状に並んだ2年生の先頭にその火が渡り、後へ、また後へとリレーを行います。



1年前、先輩方の灯火のルーを見た時、「カッコいいな、私も来年あんな風になれるのかな」と感じたことを思い出しました。あつという間の1年間でしたが、身体の仕組みから看護まで少しずつ学び、実習を通して患者さんと関わる中で発見や気付きのあった、とても濃い1年間でした。そして今回、灯火のルーを行う立場になり、改めて看護師を目指す者としての意識を持つことができました。これから、今まで以上に大変なこと、挫けそうになることがあると思いますが、先輩が励ましの言葉で伝えて下さったように共に看護師を目指す仲間と助け合いながら、高め合いながら夢に向かっていきたいと思いました。

2年生として、先輩からナイチンゲールの灯火を受け取り、言葉ももらった時、看護師を目指す身としての責任を改めて感じることができました。

灯火のルーをきっかけに自分の思う看護とは何か、これからどのように実習に臨んでいくべきなのか、自分に何が求められている、何が必要なかを考え、自分なりに追求していきたいと思いました。



基礎II期実習

トヨタ記念病院で、10日間の実習をしました。看護過程の展開、今後の生活を踏まえたアセスメント、そして、患者様にあった援助を選択、実施します。

援助の中で笑顔が見られ、喜んでくれたことに残っています。対象の入院前の生活やこれからどうなりたいかを、コミュニケーションを通して聴くことは難しいと感じたけれど、信頼関係を築くことで対象にとってどんな看護が良いかアセスメントすることができ、満足してもらえる看護ができたと学びました。

今回の実習では対象に深く興味関心をもち、対象の心がどうしたら温まるのかを考えながら接し方やケア内容の工夫をしてきました。対象やご家族の方からの「ありがとう」の言葉は何よりの励みとなり、明日はどんなケアを提供しようかと考える毎日はとてもやりがい溢れ、対象と過ごす10日間はあつという間に感じました。

今回の実習ではコミュニケーション技術の重要性を感じました。患者様のこれまでの生活や治療を理解した上で、一つひとつの発言や行動がどのような気持ちから出てきたものなのか考え寄り添うことが大切だと学びました。少しずつ信頼関係を築き、患者様が自分の考えを話してくださったり、ありがとうと言ってくださったことが心に残っています。



3年生

卒業生からのお話

先輩の話聞き、より一層学習に対して意欲がでてきました。まずは授業や模試の復習を行うことから始め、国試に向けた学習も始めなければならぬと思いました。

ただでなく、しっかりと自分の将来を考え、先を見据えた行動がとれなければならぬと気がきました。

今の学生生活の中で得られる知識・技術・マナーや経験などはできるだけ身に付けられるように今の時期が一番の頑張りどころだと感じました。看護師として常に学習し続ける事が大切だと聞き、今から学習習慣を身に付けていきたいと思いました。

学生時代のお話を聞いて、やはり実習から得られる経験が多くあるのだと感じました。



交流会 犬山城

グループメンバーで行きたい場所について話し合ったり、学校では見れないようなメンバーの姿を見ることができて楽しかったです。

先輩方とは、勉強方法や学校生活の不安などを相談することができました。

先輩方とプライベートのお話もすることが出来て楽しかったです！

先生と、各学年2.3人のグループで、観光したり、ランチしながら、学校のこと、実習のこと、プライベートなど、おしゃべりします。先輩と仲良くなるチャンスです！



防火訓練



消火器や消火栓の仕組み、使用方法を学ぶ際に、消防士さんならではの専門知識だけでなく、私のような素人でも簡単に使える方法を教えて頂きました。実際に消火栓を自身で開け、放水し、水圧や水がどこまで飛ぶのかを体験することが出来ました。また、地震体験では普段から体験することができない震度7以上を地震体験装置で肌で感じる事が出来ました。これらの貴重な体験により、いざ地震や火事が起きた時にどこに隠れるべきなのか、消火栓をどのように開けるのかを学ぶことが出来ました。いつでも備えられるよう、消火器・消火栓の位置を把握しておき、耐震シールを家具に貼り付けるなど、些細なことから始めることが大切だと学ぶことが出来ました。

消火栓を初めて使いました。学校内にある消化器の場所も覚えることができたので、消化器や消火栓のことは知っていても、学ぶ機会がないといざという時に使えないので良かったなと思いました。

トリアージの際、体調確認とともに表情を見ながら、患者の取り違えや薬の間違えがないように患者本人に確認しながら行っていました。医療従事者が連携しながら処置や看護を実施していたことがとても印象的でした。今後、地震や災害時など緊急事態に備えて、避難場所を確認していきたいです。今回の防災訓練を行ってみて、一人ひとりが落ち着いて行動できると患者だけでなく付き添いの人や家族、医療従事者なども焦って慌てることなく避難することができるので、日頃から防災について考えるなど気を引き締めて行動したいです。



今後の予定

1月 January

2年生臨地実習スタート

2月 February

2月16日 看護師国家試験 (合格発表は3月24日！)

3月 March

3月5日 卒業式

